

調理研修 [Web研修]



今年度新設した「調理研修」は、一人ひとりが、最後まで口からおいしく食べ健康維持のため、高齢者の特徴や栄養などの基礎知識を学び、専門性の向上をめざして実施しています。

研修センターには、設備が充実した調理実習室がありますが、コロナ禍のため実習はできませんが、講義と調理実演を動画配信しており、申込みされた事業所の方々にご視聴いただいています。

1. 時短調理！利用者宅にある食材で作る調理 (地域栄養サポート自由が丘 管理栄養士 村上 奈央子氏)

限られた訪問時間の中でも、おいしく食事を楽しんでいただけるように、時間短縮の調理の工夫などの講義。調理実演では、「簡単！フライパンひとつでひじき煮」や「レンジで簡単！煮魚」などの作り方を学びました。



2. 嚥下状態に合わせたやさしい介護食と調理 (桜新町アーバンクリニック 管理栄養士 波多野 桃氏)

噛む力が低下し飲み込む力が難しくなった方も、口からおいしく食べられる、介護食の工夫などの講義。調理実演では、「お惣菜で簡単やわらか食・やわらかメンチカツ」「やわらか鶏だんご」などの作り方を学びました。



せたがや福社区民学会 第12回大会 [Web開催]

＜公開期間＞
令和3年1月15日(金)
～2月15日(月)

＜基調講演＞
大熊 由紀子氏
(国際医療福祉大学大学院教授)
「未来につなぐ
せたがや福祉のきずな」

＜参加費＞
無料
＜参加方法＞
発表事例集閲覧、動画視聴、
アンケート提出
<https://www.setagaya-jinzai.jp/society>



＜開催イメージ＞



※新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ、Web等を活用し開催します。



編集後記

いよいよ師走。年の瀬が迫ってきました。12月はイベント目白押し、心がそわそわしますね。

我が家は、大イベント「受験」を控えそわそわ。子どもと2人、なれない電車でゆられ学校の訪問に情報収集・プチ観光。観光気分を切り替えて、、、成績とにらめっこ(笑)。子どもが目標に向かいやり遂げられるように、私の役目は、体調管理と笑顔忘れず応援団。

受験生の皆さんに、笑顔の花が満開に咲くよう願っています😊😊😊

発行：世田谷区福祉人材育成・研修センター
〒156-0043世田谷区松原6-37-10
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階
電話：03-6379-4280
FAX：03-6379-4281
HP：<https://www.setagaya-jinzai.jp/>



世田谷区福祉人材育成・研修センター

じんざいくん便り



令和2年12月 第4号

福祉の理解促進 広報誌「福祉のしごと ふくしごと」創刊号 令和3年1月発行

これから仕事をしようとする人、福祉のしごとを目指す人、必見！！
福祉の理解促進に向け広報誌「福祉のしごと ふくしごと」創刊号を発行します。



伝えます！福祉のしごと

●事業所職員による座談会

福祉の仕事の魅力～私が仕事に取り組み理由～

- 長年、福祉のしごとに従事されているベテラン職員の皆様に、「仕事のやりがいと、福祉を目指す方に伝えたいこと」等、お伺いしました。
- ・勉強して資格の意味が分かり働きながらの勉強は大変だが資格取得でき嬉しかったです (宮崎氏)
 - ・介護ベッドなどの機能が向上し、介護技術も格段に進歩して、多職種連携も進んでいます (市橋氏)
 - ・福祉・介護職の処遇改善は進むと思います。介護の仕事の面白さは無限大。まず、やってみませんか (辻本氏)
 - ・関係機関との連携は進んでいます。地域づくりに関係者の連携は欠かせません (杉山氏)
 - ・在宅での看取りが増える中、人生観・死生観に添えた時、達成感が得られます (五島氏)

●専門員のメッセージ

研修センター事業のアドバイスをいただいている専門員に福祉の仕事の重要性についてメッセージをいただきました。

- ・介護・福祉の仕事は人々の人生そのものを支える仕事で価値があります (中村氏)
- ・福祉の仕事は「自立支援」と「尊厳を支える」重要な仕事です (上之園氏)
- ・本人の可能性を信じ寄り添い続けることが福祉に携わる人の姿勢です (鈴木氏)



●若者の声 Web 対談/介護体験

福祉を学んでいる大学生と指導教授の声

- ・人の役に立つ仕事は意義があると考えるともらえる嬉しいです (佃氏)
- ・福祉は、学んで絶対に損はないので選択肢の一つにして欲しいです (小川氏)
- ・仕事には成長の実感が大切。大学のリカレント教育の役割だと思います (北本氏)



●異業種から見た福祉の仕事

福祉の魅力を発信する「KAIGO PRIDE」プロジェクトを手掛け、全国的に話題を集めたクリエイティブディレクター マンジョット・ベティさんから、自分で自分をリスペクトする「セルフリスペクト」が、社会からのリスペクトをつくる。「人を支える介護の仕事は尊い」相手を思いやる心が強く、優しく、クリエイティブ。介護は尊い仕事です。と、メッセージをいただきました。



広報誌は学校、図書館、区役所、若者サポートステーション等に配架し、研修センターホームページに掲載します。ぜひご覧いただき、ご意見をお寄せください。

福祉の理解促進 初めの 初めの一步「手話カフェ」開催！

世田谷区立保健医療福祉総合プラザ運営管理室共催事業



プラザ内「カフェ うめとびあ」で、「手話カフェ 第1回」を開催しました。講師：NPO法人世田谷区聴覚障害者協会の唯藤会長、武田さん、富樫さん 講師から「コミュニケーション」の手段について、「『手話』『口話』『筆談』『身振り』そして何より『心』が大切！」表情豊かに講師から、あいさつのしかたや数字など、楽しく、わかりやすく教えていただきました。

講義後、お茶を飲みながら質問タイム。
Q.「片手が使えないけど、どうしたらいい？」
A.「利き手で伝えることができます」
「手話の成り立ちを教えてもらい覚えやすい」
「楽しく学べた」「また参加したい」と大好評でした。
手話を通して、「福祉のこころ」「福祉の理解」を

これからも進めていきます。【毎月第2金曜日 午後2時～3時】



